

## ◆1年生合唱

- 1位 1年5組 「Chessboard」「Oh Happy Day」  
 2位 1年6組 「Chessboard」「虹」  
 3位 1年3組 「Chessboard」「あなたへ - 旅立ちによせるメッセージ - 」



## 《審査講評》

それぞれのクラスがアンサンブルを通じて、重ねてきた努力の成果を伝えられたのではないかと考えています。そして、なにかと苦勞したクラスほど、いい音楽づくりが出来ていたのではないかと、と思っています。

歌にはさまざまな要素がありますね。音程、声量、発音、ハーモニー、ダイナミクス、アーティキュレーション、これらのどの要素に注目して練習するのかによって、同じ歌でも、出来上がったものの聞こえ方はまるで変わってきます。今回の課題曲が高難度であったこともあり、クラスごとにどの要素と向き合うのか、選択を迫られたことと思います。

特に男女比や人数がクラスごとに違うというのもあり、そのアンバランスに対処するため、多大な苦勞をすることになったクラスもあつたでしょう。しかし裏を返せば、このような困難に対応するための工夫を重ねたことが、いい音楽づくりにつながったはずなのです。

苦勞したクラスは、それだけ多くの音楽的要素に、時間をかけて向き合うことができたのだと思います。クラスごとに自分たちの歌の課題を見つけ、「こう歌いたい」というイメージを作り、クラスそれぞれが努力して、それがきちんと成果としてあらわれた。頑張ってきた過程が歌を通じて感じられた、よい会でした。どのクラスもお疲れさまでした。

(以下審査員コメント)

- 1組 他クラスと比較しても、かなりしっかりと男声が響いていた。自由曲も全体的にバランスよく整っていて、サビに向かって感情の高まりが感じられた。
- 2組 声がそれぞれにしっかりと出せていて良かった。自由曲の歌い方について「こう歌いたい!」というしっかりとしたイメージを持って臨んでいることが伝わってきた。
- 3組 声のバランスや伸びの美しさが、全体的な高評価に繋がった。自由曲はサビにかけての盛り上がりがよく表現されていて、とても良い音楽づくりしていたと思う。
- 4組 本来、人数的に女声が薄くなりそうだが、それらを一切感じさせないバランスに仕上がっていた。特に自由曲には安定感が感じられてよかった。
- 5組 満場一致で一番の評価だった。課題曲では音程とバランスに対する強いこだわりを持って努力したのでしょう。美しく安定感のあるアンサンブルだった。自由曲も、ロングトーンの伸びがクリアだった。
- 6組 男女バランス的なハンデがあつたかと思うが、きちんと「すべての音が聞こえる合唱」としてまとまっていた。言葉の発音もクリアで、聞く人の感情を揺さぶるエネルギーがあつた。

## ◆1年生クラスムービー

- 1位 1年6組 「答案泥棒」  
 2位 1年1組 「1-1スイッチ」  
 3位 1年4組 「名探偵コナンムービー」  
 1年5組 「StaRt～濱川先生を添えて～」



## 《審査講評》

今年度より、1年生の取り組みとして合唱に加えてクラスムービーの制作が増えました。撮影は校内のみ、全員の出演が原則、という規定のもとでも、短い準備期間で、企画・撮影・編集をすることができました。米原高校の校舎のあちこちを撮影に使い、ああ、あそこかと親近感を持った一方、校内にこんなところがあるのかと感心して見ていた人も多いのではないのでしょうか。BGMや効果音もうまく使い、高校生活の楽しい日々を表現することができました。また、何よりも映像の編集技術のレベルの高さに驚かされました。場面を違和感なくスムーズにつなぐことはもちろん、音響とともに効果的に切り替えるなどの工夫がよかったです。

今回は映像でしたが、観ている人をいかに引きつけることができるかという経験は、来年、再来年の学園祭の演劇においても活かされることと思います。(以下審査員コメント)

- 1組 身近な素材をうまく利用して、ピタゴラススイッチをうまく再現していた。CMを入れるという手法を用いて全員の出演を果たしたのはよかった。企業名等にひとひねり欲しかった。
- 2組 「校舎案内図」から、謎の部屋の存在へと想像を広げたアイデアが面白かった。うまくホラー感を出せていた。
- 3組 チャレンジを成功させるまでの努力が想像できてよかった。カメラワークに工夫がみられてよかった。
- 4組 「名探偵コナン」の再現度が高く、惹きつけられた。テロップや効果音に工夫がみられた
- 5組 クラスの一体感が映像から伝わった。高校一年生らしい「青春」にあふれた作品であった。
- 6組 「映画泥棒」のパロディで学校生活と結びつけたアイデアが斬新だった。学校全体を広く利用しており、動きに躍動感があってよかった。

## ◆2年演劇（短編）

- 1位 2年1組『3年A組』
- 2位 2年3組『米原MER』
- 3位 2年5組『Cinderella』



2年演劇1位  
2年1組

### ◀審査講評▶

2年生になって、初めての演劇への挑戦だと思いましたが、演劇を通して伝えたいことは伝えられたでしょうか？どのクラスも演出効果に様々な工夫も見られ、全体的にクオリティの高い仕上がりになっていたと思います。

限られた時間と予算の中、様々な苦労もあったと思いますが、本番までの取組と本番をやりきったことは大きな経験であり、大切な財産になったことと思います。そして他のクラスや3年生の演劇を鑑賞し、色々と刺激を受けたことと思います。また取組を振り返って、改善点も見出せたのではないかと思います。次年度はよりオリジナリティにあふれた、レベルアップした演劇になることを期待しています。(以下審査員コメント)

#### 1組『3年A組』

- ・メッセージ性が強く良くできた舞台だった。先生役が名演技だった。
- ・演技も素晴らしかったし、脚本、照明なども大変よくできていたと思う。
- ・主演はもちろん全員の演技が上手。      ・全体での声の掛け合いの間が良い。演技に迫力がある。

#### 2組『インサイドヘッド』

- ・外の世界と頭の中の世界を左右に分けて演じる工夫が良かった。
- ・脚本、構成がよくできていた。      ・難しい内容をうまく表現できていた。

#### 3組『米原MER』

- ・MERの人たちがリアルな感じで演技が上手だった。演者のAEDの動きが良かった。
- ・凝った演出と笑いをとり入れた脚本、演者の熱演等見どころがたくさんありました。
- ・BGMが効果的に使われている。刑事上手。

#### 4組『君の名は。』

- ・背景を絵や写真で写す工夫が効果的。舞台が広く使えている。
- ・セリフの一言一言に感情を込めようとしていたところに好感が持てた。
- ・声を張ってセリフが言えている。恋愛シーンは印象に残った。

#### 5組『Cinderella』

- ・衣装が美しくネズミのダンスも可愛らしかった。発音もわかりやすく聞き取れた。
- ・表現、声のトーン、身振り等が大変工夫されていたところが素晴らしかった。
- ・小道具、衣装OK。場面転換わかりやすい。

#### 6組『はたらく細胞：風邪』

- ・見ていて楽しかった。細胞の働きがよくわかりました。
- ・細胞を主役にして演劇を構成するというアイデアが素晴らしい。脚本、演技、照明ともよくできていた。
- ・カーテンの使い方工夫できている。道具少なく工夫できている。

### ◆3年演劇（長編）

- 1位 3年5組 『時をかける少女』
- 2位 3年4組 『心が叫びたがってるんだ』
- 2位 3年2組 『最高の生徒』



3年演劇1位  
3年5組

#### ◀審査講評▶

結果的には順位がつけましたが僅差であり、いずれも、3年生らしく下級生の手本となる作品であったと思います。上演後の審査員席周辺の生徒たちの反応からも、それがよく伝わってきました。

以下の点をさらにブラッシュアップすれば、一層すばらしい作品になったであろうという視点で読んでください（もちろん、しっかりできていた作品もありました）。1、2年生は、来年度の蒼輝祭に向けての参考にしてください。

各クラスとも、出演者は演技することに無我夢中であったと思いますが、その演技が観客に届いているか、観客に楽しんでもらえているかといった、「観客を主体」とした一歩進んだ視点をもって取り組めていたでしょうか。

#### ○「テーマ」

その作品で、何が伝えなかったのか。クライマックスに向けて収束し、盛り上がっていくようなテーマがあったのかどうか。

#### ○「発声」

観客に会話が聞き取れたかどうか。初見の観客にとって、演者が何をしているのか、何を言っているのかがしっかりわかりやすく伝わるということは大切です。

#### ○「台本」

練習ももちろん大切ですが、最も大切なのは「台本」です。短い準備期間の中、いちから台本を考えるのも、原作を40分の劇に集約するのも、本当に大変な作業だったと思います。今年度は、舞台や映画で有名な作品をアレンジしたものが多かったですが、原作を知らなくても引き込まれていくような作品になっていたでしょうか。原作を知らないと、展開が唐突すぎて、流れが理解できないような構成になっていませんか。

脚本制作、舞台監督の方の大変さはわかりますが、願わくば、もっと複数の目で台本やそれに基づいた演技を吟味し、初見の観客に伝わるかをチェックすることができると、原作のあるなしに関わらず、すべての観客が一層楽しめる作品になったのではと思います。

#### ○「場面転換（暗転）」

流れができてこない、観客にとっては理解しにくい作品となってしまいます。各場面が本当に必要なシーンかどうか（ホール両サイドの2階席を活用する必要性等も）吟味し、暗転の回数を減らしたり、暗転時に観客を待たせるのではなく、音楽やナレーションを入れて、次のシーンをワクワク待てるような工夫をしたりしてみましょう。（以下審査員コメント）

#### 1組 『ドラゴン桜』

桜の木の変化が時間の流れ（受験生の心の変化？）をうまく表していてよかった。受験勉強を進めていく中で、淡々と場面が進みすぎたような印象をうけた。受験生の感情の変化や抑揚をもっと大きく表現できるとクライマックスに向けて盛り上がったのではないのでしょうか。音響や照明のタイミングがうまく合うとさらによかったかも。

#### 2組 『最高の生徒』

「余命1年。日々、楽しい思い出を。」という主人公を取り巻く重たい内容を高校生らしい視点でまとめており、場面転換も少なく、ダンス場面もあり、印象的な見応えのある作品でした。

#### 3組 『ピノキオ』

海やクジラの場面など、よく工夫されており、演者が上手に誘う笑いと相まって、楽しく鑑賞できました。2階観覧席を使用した場面がありましたが、ステージ上ではできない演出だったのででしょうか。

#### 4組 『心が叫びたがってるんだ』

終盤の影絵で表現する演出場面はとても工夫が感じられ、効果的で新鮮だった。

#### 5組 『時をかける少女』

聞き取りやすい会話、効果的な音響や照明、場面転換中も流れを途切れさせない工夫で、テンポよくつながっていく展開にどんどん引き込まれ、クライマックスに向かって、感動を引き起こしていました。登場人物それぞれの演技に気持ちが入っており、素晴らしかった。

#### 6組 『美女と野獣』

ところどころ、不思議な間（意図的？ セリフ忘れ？）があり、そのせいか、シリアスな内容で攻めるのか、笑いを重視しているのか、審査員としては迷った。もっと音響を効果的に使うと盛り上がるのではと感じたが、主演の野獣とベルの演技がとてもよく、全体として、楽しく鑑賞できる作品に仕上がっていた。

# 蒼輝祭（体育祭）結果



## スピード玉入れ

1位…2-6 2位…1-1 3位…2-4

## 障害物リレー

1位…3-6 2位…1-4 3位…1-2

## 男女混合800mリレー

1位…3-2 2位…3-5 3位…2-4

## クラスパフォーマンス

1年 1位…1-1 2位…1-3 3位…1-6

3年 1位…3-6 2位…3-5 3位…3-4

## バックアーチ

1年 1位…1-2 2位…1-5 3位…1-6

3年 1位…3-2 2位…3-5 3位…3-1

## 学年混合パネルめくり

1位…3団 2位…5団 3位…4団

## 借り人競走

1位…2-6 1位…3-1 3位…2-1

2年 1位…2-5 2位…2-2 3位…2-3

★総合 1位…3-6 2位…3-5 3位…3-4

2年 1位…2-6 2位…2-5 3位…2-2

★総合 1位…1-2 2位…3-2 3位…2-6

## ★競技の部

1位…2-6 2位…3-6 3位…3-1 3位…3-5 3位…2-4 6位…2-1

## ★総合の部（競技+クラスパフォーマンス+バックアーチ）

1位…3-5 2位…3-1 3位…3-6 4位…3-2 5位…2-6 6位…2-5

### 《クラスパフォーマンス審査講評》

クラスパフォーマンスを鑑賞して、どのクラスも掲げるテーマに沿って様々な工夫が見られたクラスパフォーマンスだったと思います。3分間という限られた時間の中、皆さんの熱い思いが伝わってきました。

全員がしっかりと振り付けや動きを覚えていること、小道具等で魅せるための工夫がされていること、空間を広く使っていることなどが結果の上位と下位との差だったのではないかと思います。

1・2年生は、来年度もより創意工夫にあふれたクラスパフォーマンスになることを期待しています。

### 1年1組

・ダンスが独創的で良い。全体的にまとまりあり。ダンスそろっていた。

### 1年2組

・スペースを広くとっていて良い。ピンクと恋ダンスがマッチしていました。

### 1年3組

・曲、青色、ゆったりしたダンスが良く合っていました。小物が効果的でした。

### 1年4組

・みんな楽しそうでした。一生懸命な気持ちが伝わってきました。

### 1年5組

・みんな楽しそう。かわいい明るいダンスでした。元気が伝わってくる。

### 1年6組

・思い切った隊列の変化が効果的。大きな輪がインパクトありました。

### 2年1組

・ペアダンスよかったです。変化が印象的でした。空間を広く使っていた。

### 2年2組

・スペースの使い方に工夫がある。ウェーブが良かった。広がったり並んだりまとまったり楽しい！

### 2年3組

・声が大きくハツラツとしていた。元気、パワフル、アイデアいっぱい！

### 2年4組

・ピンクと明るい感じがいいです。「ぶつけろ！物理魂」いいね。

### 2年5組

・独特なダンスが良かった。身体で表現、素晴らしい。一体感あり。

### 2年6組

・担任への愛が伝わってきました。曲のイメージに合っていると感じました。

### 3年1組

・ダンスがそろっていて美しかった。フォーメーションがきれいでした。

### 3年2組

・変化のあるフォーメーション。全体のまとまりがありました。ピンクの手袋が映えていた。

### 3年3組

・白衣が効果的、印象的。二部構成が効果的。メリハリがあった。

《バックアーチ審査講評》

今年度のバックアーチも、動的なもの、静的なもの、幻想的なもの、可愛らしいものなど、力作揃いでした。

審査においては、できばえとともに、毎年、次の点を重視しています。

□バックアーチは自分のクラスの団結力や体育祭にかける思いを表現しチームを鼓舞する性格のものだと思いますので、各クラスが設定したテーマに沿った強い思いが発信されているかどうか。

□せっかくの作品ですから見る人にはじっくり見てほしいところですが、初見で、パッと見たときに何が伝わるか、伝わるものがあるかどうか。

また、審査は、バトンに吊るされた状態で行います。バックアーチは高い位置に吊るされていますので、遠くから見て、見る人の目にどう映るか、見る人に何が伝わるかということを想定して作成することも重要です。細部を作りこむことも大切であるとは思いますが、残念ながら遠くからでは細かな部分はあまり識別できません。

以上のような観点から、各学年、総合で上位に入賞したバックアーチほど、細部の描写以上に、遠くから見て、盛り込んだアイデアや思いが強く伝わってきました。

### 1年1組

・天使、多くの花と、きれいな色使いで丁寧に描かれています。後姿の天使というのも神秘的な印象を受けます。静的な感じの作品です。優しく個性を認め合えるクラスというメッセージ、何か標題を添えてもよかったかもしれません。

### 1年2組

・構図、色使い、遠くからの識別性、立体的な描画等、大変レベルの高い作品であったと思います。近くで見ても、細部にまでよく描きこまれており、遠近どちらからも映えるバックアーチでした。

### 1年3組

・不死鳥は真紅というのが一般的ですので、アピールポイントを見てわかりました。ただ、青を基調としたバックアーチは「雲外蒼天」の熟語とよく合っていて、ひそかな熱意が伝わってくるように感じました。

### 1年4組

・さらなる高みを目指して、太陽に向かって飛ぶ、イルカ。タイトルとよく符合したバックアーチで、メッセージもよく伝わってきました。

### 1年5組

・紫色以外はグレースケールで作成されており、細かいところまで描かれています。構図的にも興味深く、「虎視眈々」と勝利を狙う雰囲気がよく伝わり、見る人を引きつ

### 3年4組

・音楽に動きが合っていた。赤い帽子、音楽との親和性有り。和を感じた。

### 3年5組

・表現力豊か。ダンスがキレキレでカッコ良かった。まとまりもメリハリもすばらしい。

### 3年6組

・テーマが感じられた。ミュージカルのように楽しかった。魅入ってしまう、優しさであふれていました。

けたのではないのでしょうか。

### 1年6組

・遠くから見てもわかりやすい絵柄や構図、鮮やかに映える色使い、手が飛び出してきそうな遠近感がすばしかった。まさに、目標を目指して前に進もうとしている感じが伝わってくるバックアーチでした。

### 2年1組

・赤、黄色、青とはっきりした色使いと配置がとても印象的で、神秘的な絵でした。ただ、一見、何を描いているのか、わかりにくいのは残念でした。

### 2年2組

・全学年のバックアーチの中で、遠方からの視認性は最も高かった作品でした。虎の迫力がよく伝わってきました。ただ、バックアーチのテーマである「和」の表現については、更なる描き込みを期待します。

### 2年3組

・翼部分の水面の表現、文字のレタリングなど、細部にも気を使った細かな描写と迫力ある構図、色使いも、製作者の狙いどおりの作品づくりができていました。青色と黄色の補色の関係は、遠方からもよく視認できました。

### 2年4組

・他のクラスとは趣向が異なり、かわいらしく、穏やかな気持ちになるバックアーチでした。ひまわりも描きこんであり、クラスの雰囲気がよく想像できる絵柄でした。

### 2年5組

・雷神の力強さ、迫力が伝わってくるバックアーチでした。雷にクラスカラーを配置するなどの工夫もありました。LEAPを片手に持つなど遊び心も感じました。ただ、筋肉質で立派な体躯に対して頭部が小さくて、遠くからみると、頭部がないように見えてしまうのが残念でした。

### 2年6組

・細かな部分までよく描きこまれ、神秘的なバックアーチでした。見る者が獲物として睨みつけられる感じを受け、じわっと迫力が伝わってくる仕上がりでした。

### 3年1組

・めでたい「鳳凰」の描画にこだわりが感じられるバックアーチでした。鱗の凝った表現は近くで見ると感動ものでした。色の選び方が和を感じさせる深みのある色合いでまとまっていた。赤の地色に赤の文字を配置すると、遠くからの視認性が下がってしまいます。

### 3年2組

・青空を背景に、グレースケールで細かく描かれた作品。大変迫力がありません。

### 3年3組

・蒼輝祭テーマ「百花齊放」、文化祭演劇「ピノキオ」の内容とリンクして制作とのこと。ダイナミックに空を飛んでいるクジラとのアピールですが、それ以上にかわいらしさ、ほのぼのとしたあたたかさを感じます

### 3年4組

・アピールポイントどおり「ただならぬ勢い」を感じます。ただ、目的に向かって脇目もふらず、ひたすらまっすぐ進むというよりも、獲物を捕らえるためにとびかかろうとする鯨、特に鋭利な歯に恐怖を感じるできればでした。

### 3年5組

・全体的に（図形として）、ロゴマークのように、きれいにまとまっているバックアーチでした。きれいにまとまりすぎて、初見でカメレオンと認識できない（じっくり見て、わかった）審査員もいました。

### 3年6組

・海の中？ 空？ いろいろな想像を誘発するバックアーチでした。残念なのは、3年6組のバックアーチだということがわからないこと。制作者のこだわりがあったのかもしれませんが、審査する側としては入れてほしい条件のひとつです。



選手宣誓の様子



バックアーチ  
総合1位  
1年2組

クラスパフォーマンス

総合1位  
3年6組



合唱1位：1年5組

今年の蒼輝祭、皆さん楽しんでもらえましたか？みんなで取り組むからこそ生まれる課題もあります。一方で、みんなだからこそ味わえる喜びもあります。どちらも学園祭の大きな醍醐味。嬉しかったことも悔しかったことも、すべてみんなにとって一生の財産です。この蒼輝祭をきっかけに、皆さんがさらなる飛躍を遂げることを願っています。3日間、本当におつかれさまでした！（生徒会）